取扱説明書 保管用

屋内用・放電灯埋め込み灯

(天井・壁埋め込み兼用型　　安定器別置型)

ご使用になられる前に必ずお読みください

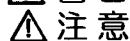
この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　番	適合ランプ
DH－2132	R7Xs　HQI－TS　150W
DH－2626	R7Xs　HQI－TS　70W
DH－2627	R7Xs　HQI－TS　70W

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は器具破損の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は特に注意してください。
⃠　このマークのついている説明文は必ず守ってください。

施工上の注意

⚠警告

❗ 施工は、取り扱い説明書にしたがい確実に行ってください。
★施工に不備があると落下や火災、感電事故の原因となります。

⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★漏電・感電事故の原因となります。

❗ 取り付け方向が指定されています。取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると異常加熱による火災や器具破損、器具落下による「けが」の原因となります。

⃠ 天井・壁埋め込み兼用器具です。天井、壁以外の場所には施工しないでください。
★指定以外の場所に取り付けると、異常加熱による熱損事故の原因となります。

⃠ 断熱材工法（※ブローイング工法、マット敷き工法）には設置できません。※「取付場所の確認」を参照してください。
★異常加熱による熱損事故の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更は絶対しないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

❗ ランプは器具、安定器との適合とランプの使用制限を確認の上使用してください。
★ランプの破裂、発火の原因となります。

❗ 端子に差し込むケーブルの芯線は、真っ直ぐな線っを正しく挿入してください。
★曲った芯線や汚れた芯線は、接触不良となり接触抵抗の増加を招いて火災の原因となる場合があります。

❗ アース工事は、電気設備の技術基準にしたがい、確実に行ってください。
★アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

⚠注意

❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、加熱し火災の原因となることがあります。

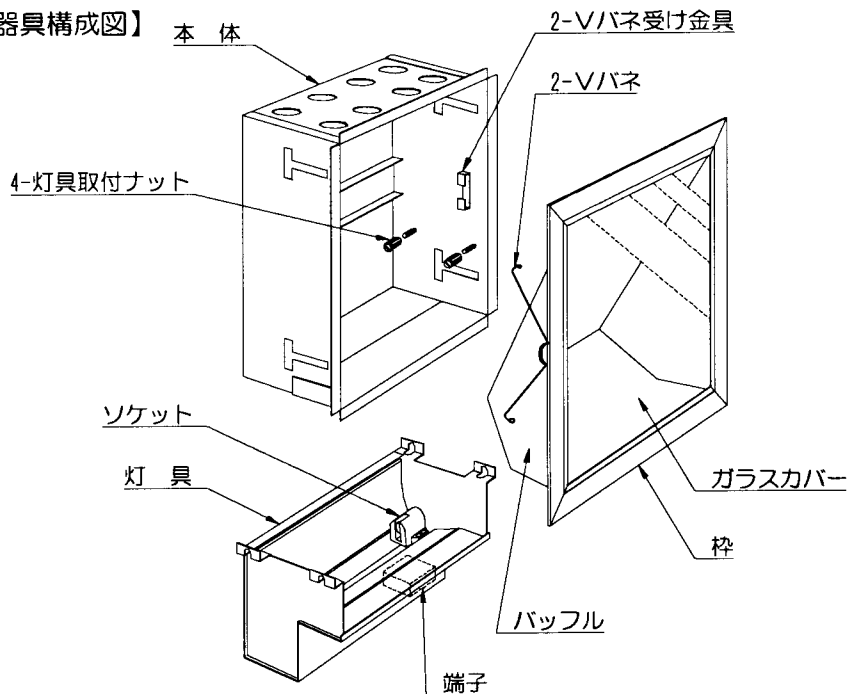
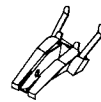
❗ 使用地域の電源周波数（50ﾍﾙﾂまたは60ﾍﾙﾂ）にあった安定器を使用してください。
★間違って使用すると、火災の原因となることがあります。

⃠ ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

⃠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くには設置しないでください。
★異常加熱による火災の原因となります。

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★加熱して、発煙や発火の原因となります。

⃠ 防虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバー落下などの原因となります。

各部の名称（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

取り付け場所の確認

⚠警告

- 施工は、取り扱い説明書にしたがい確実に行ってください。
  ★施工に不備があると落下や火災、感電事故の原因となります。
- 天井・壁埋め込み兼用器具です。天井、壁以外の場所には施工しないでください。
  ★指定以外の場所に取り付けると、異常加熱による熱損事故の原因となります。
- 安定器別置型器具です。安定器の使用条件を確認の上、適所に設置してください。
  ★不適当な場所に設置すると、不点灯や異常加熱による熱損事故の原因となります。
- 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
  ★漏電・感電事故の原因となります。
- 取付け可能造営材厚は、5mm～30mmです。それ以外には取付けできません。
  ★器具落下の原因となります。
- 壁付けの場合、埋め込み深さを13cm以上必ずとってください。また、外形寸法より20cm四方に換気を妨げる断熱材や防音材、その他の構造物を設置しないでください。※図1．を参照してください。
  ★異常加熱による熱損事故の原因となります。
- 天井付けの場合、必ずボルトで取り付けてください。
  ★器具落下の原因となります。
- 断熱材工法（※ブローイング工法、マット敷き工法）には設置できません。※図2．を参照してください。
  ★異常加熱による熱損事故の原因となります。

※断熱材、防音材で器具本体の放熱穴を塞がないでください。
※断熱材、防音材の上部は最低20cmの空間が必要です。
※電気配線は断熱、防音材の上側にくるようにしてください。
※器具から断熱材、防音材の間隔を最低10cm以上離してください。

＜壁埋付けの場合＞

図1．

＜天井付けの場合＞

断熱施工不可

ブローイング工法

マット敷き工法

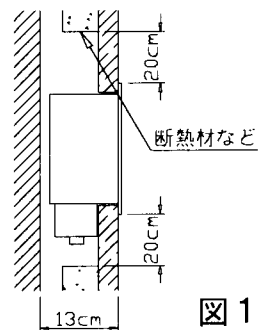
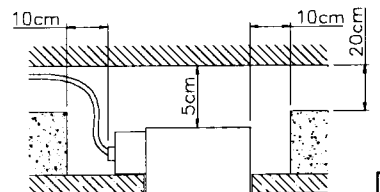
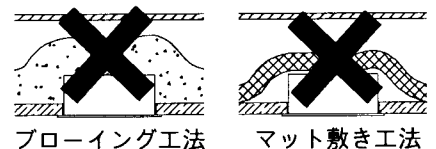
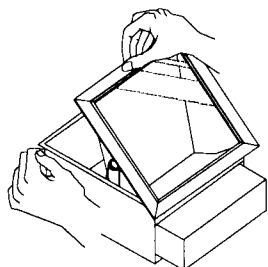
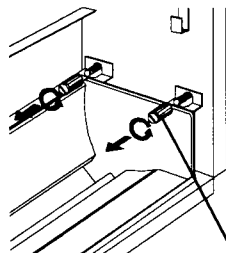



図2．

＜取り付ける前に＞

1.ガラスカバーをはずします。

本体を押さえて枠の縁に指をかけ、ガラスカバーをバッフルごと引き出し、Vバネをはずします。

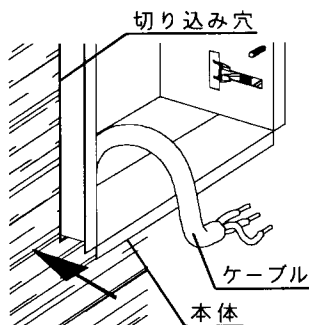
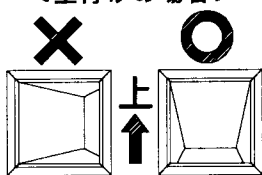
2.本体から灯具をはずします。

灯体取付ナット4個をはずし、本体から灯具をはずします。

3. 取り付ける面に切り込み穴をあけます。

品　番	切り込み寸法
DH－2626	□260
DH－2132	□310
DH－2627	210×360

取り付け方

⚠注意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠警告 ❗器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下や火災、感電事故の原因とります。

1.本体にケーブルを引き込み、本体を切り込み穴にセットします。

⚠警告 ❗壁付けの場合、取り付け方向が指定されています。
取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると異常加熱による火災や器具破損、器具落下による「けが」の原因となります。

取付金具 ① T溝 ②

2.本体取付金具及びボルトで本体を取付けます。

※壁付けの場合

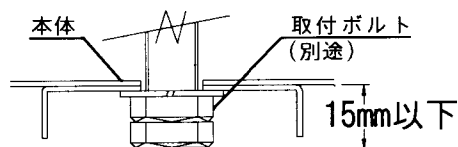
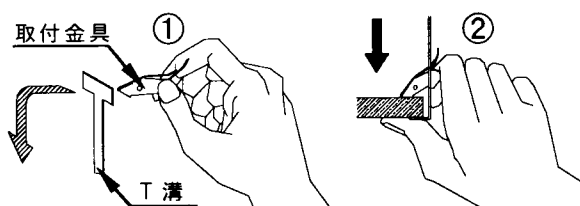
＜ 本体取付金具＞

①本体取付金具を図の様につまみ、押しながら本体Ｔ溝に挿入します。
②造営材と本体に隙間が開かないように、取付金具を確実に引き下げます。

※注意　必ず４個の金具で取り付けてください。
★器具落下の原因となります。

※天井付けの場合

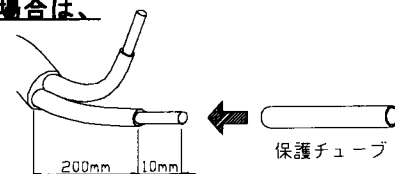
＜ボルト＞

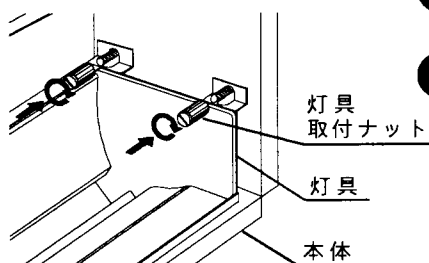
①本体取付金具で仮止めします。
②ボルトの頭が本体より１５ｍｍ以上出ないように調節します。
③ダブルナットで本体を確実に取り付けます。

3.ケーブルを灯具端子に結線します。

⚠注意 ❗アース工事は、電気設備の技術基準にしたがい、確実に行ってください。
★アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

❗端子の結線位置が決められています。
必ず表記にしたがい結線してください。
★間違えて結線すると異常電圧時にアークによる火災の原因となります。

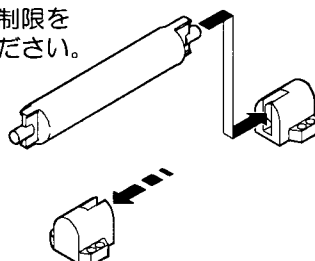
※ＤＨ－２６２７を壁付けとする場合は、

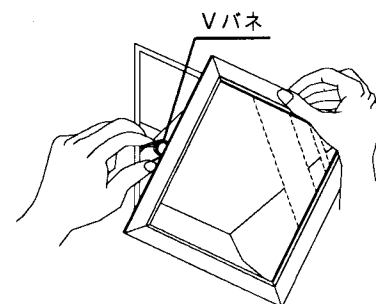
必ず電源線の外側被服を２００㎜以上むき、付属の保護チューブを１本ずつ被せてください。

4.灯具をセットします。

灯具を本体内に落とし入れ、灯具取付ナット４個で本体に取り付けます。

5.ランプをセットします。

⚠注意

❗ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。

❗ランプは器具の使用制限を確認の上使用してください。
★ランプの破裂、発火の原因となります。

6．枠をセットします。

Ｖバネを本体のＶバネ受け金具に引っ掛けてカバーを閉じます。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

◆お客様へのお願い

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃を行ってください。

⚠注意

❗ ●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。

⃠ ●ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。

❗ ●ランプは器具の使用制限を確認の上使用してください。
★ランプの破裂、発火の原因となります。

⃠ ●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

1。 電源スイッチを切ります。

2。 ガラスカバーをはずします。
※枠の縁に指をかけて、ガラスカバーをバッフルごと引き出し、Vバネをはずします。

⚠注意 ⃠ ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

3。 ランプをソケットからはずします。

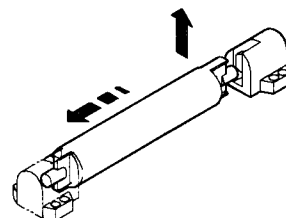
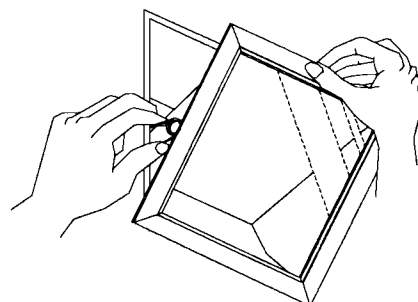
⚠注意 ⃠ ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。

4。 新しいランプをセットします。

⚠注意 ❗ ランプは器具の使用制限を確認の上使用してください。
★ランプの破裂、発火の原因となります。

『●取り付け方』 の 「5．ランプのセット」の項をご参照ください。

5。 枠をセットします。

『●取り付け方』 の 「6．枠のセット」の項をご参照ください。

◆お手入れのしかた

1.スイッチを切ります。

2.柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。

3.汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。

4.最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の型番**（器具本体のラベルでご確認ください）、**故障の状況**、**ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。